

令和元年度 第2回鶴岡市総合戦略策定推進会議（会議概要）

- 日 時 令和2年2月20日(木) 午後1時～2時45分
- 会 場 鶴岡市勤労者会館 2階研修室
- 次 第 1 開会
2 会長あいさつ
3 協議
（1）次期「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
（2）その他
4 閉会

以下、委員発言の要旨

戦略の考え方について

- ・ 様々な施策が過去からの延長線上の中で発想されているところに、面白みのなさを感じる。
- ・ 第1期の検証から、現状をどう打開し次につなげるかの記載がない。もっと鶴岡市の特徴的なところを捉え、具体的に作成していただきたい。

人口減少対策の考え方について

- ・ 人口が減少する社会の中でも、住みやすく豊かな鶴岡であることを明確にし、若い人たちに伝えていくことが、ある面では最高の対策になるのではないか。
- ・ 人口がこのくらいまで減った時に、こういうまちづくりをしていかないといけないという考え方、リスクシナリオがあっている。
- ・ 出生数の著しい減少に愕然とした。早目早目に様々な手を打たないといけない。

行政サービスの在り方について

- ・ 様々なサービスの在り方が変わってきている中で、私たち市民がこれまでと同じ行政サービスを要求していいのか、ということも市民レベルで議論されるべき。
- ・ 本当に提供しなければいけない行政サービスは何かということも明確にしていくことも大切である。
- ・ 鶴岡市は面積が広く、中心部と郊外で人口の減り方に当然違いが生じ、提供できるサービスも変わってくる。全市で同じサービスを続けるか、ある程度メリハリをつけた政策をとるかということこそ戦略的な考え方ではないか。
- ・ 近隣の市町村等と医療ネットワークを構築し、安心安全なまちとであることを地域に定着させていくことを課題として捉えていただきたい。

進捗管理について

- ・ 中間年の2030年の達成状況により、戦略としていくつかの選択肢があるべき。

KPIについて

- ・子育てしにくいと感じている理由として、どのようなことが障害になっているか、分析して改善していただきたい。
- ・自殺死亡率が県や全国平均と比べ若干高いという印象を持っている。何が原因で、どのような経緯でこういう結果になっているか、分析と解決に力を注ぐ必要がある。

その他

- ・若者が行政やこの地域に関心を持ち、こういった会議に参加し自ら計画していくことも重要である。次回以降は若い方も参加させていただけるといい。